第２学年１組　特別の教科　道徳学習指導案

令和８年１１月２０日（金）　第５校時　２年１組教室　指導者　平迫　亜紀

１　主題名　　あたたかい心（B親切、思いやり）

（教材名：くりのみ　出典：生きる力２【日本文教出版】）

２　目　標

困っている人のために親切にしようとすることは、みんなの心が温かくなるなど、とてもすてきなことであることを理解し、互いに助け合っていこうとする心情を育てる。

３　授業計画

【ねらいとする道徳的価値について】

「親切、思いやり」とは、相手のことを考えて相手の気持ちを想像し、もし自分ならどうしてほしいかと考え、それを相手に届けることである。低学年の子どもたちは、「困っている人には親切にしよう」と言われ続けているため、親切の大切さは知っている。しかし、「先生に言われたから」「褒められるから」が考えの中心であるため、「親切は大切」の考えの中身を広げていきたい。独り占めしたときの「いい気持ち」と、親切にしたときの「いい気持ち」を比較し、相手がいい気持ちで、それを見ている自分もいい気持ちになることを感じ取れるようにしていきたい。親切とは、相手のことを考えて行うものであり、親切にすると褒められるだけではなく、相手が笑顔になり、周りの人も笑顔になる、そして自分もうれしくなる。親切は、自分や相手、周りの人たちの心を温かくするすてきなことばなのだということから、親切の大切さを広げられるようにしてきたい。

【学習前の児童の姿】

本学級の子どもたちは、人懐こく、それぞれに自分の話をすることが大好きである。休み時間には自分の好きな遊びを自由にする姿があり、運動場や中庭で遊んだり、教室で本を読んだりする姿が見られる。また、水筒の水をこぼすなど友達が困っていれば自分から声をかけ、助けようとする友達を思う温かさももっている。一方で、自分の思いが通らないと悲しい気持ちを強く表したり、自分の思いを優先するあまり、相手の気持ちを十分に考えられなかったりする姿も見られる。そこで児童が友達を助けようとする思いを大切にしながら、「自分がうれしい」「自分が得をする」という考えからではなく、「友達はどうかな」「何を望んでいるかな」など、相手のことを考えて行動することに目を向けられるようにしたい。独り占めしたときの「いい気持ち」と「親切にしたとき」の「いい気持ち」を比較し、相手のことを考えた親切が、相手だけではなく自分や周りの心も温かくするということにつながることを理解できるようにしたい。

〈教材のこんな魅力〉【1時間完了】

・本教材では、冬を前に自分が見つけたどんぐりを大切にしまっておきたいと考えるきつねと、少ないどんぐりを困っているきつねに渡したいと考えるうさぎが対比して描かれている。どちらも食べ物を必要とする事情がある中で、相手のことを考えて行動することの難しさと温かさを考えることができる。
・うさぎの行動にきつねが涙を流す場面はこの教材の大きな魅力である。親切は相手の想いを想像し、相手にとってよいことを捉えられる教材である。

〈こんな手だてで〉

・双方が食べ物を必要としていることを押さえ、きつねが自分の利益を考えてどんぐりを隠す場面と、うさぎが自分にとっても大切なくりのみを差し出す場面を対比的に扱い、うさぎの親切に触れた喜びや感謝、自分の行動を振り返る思いを考え合う。
・親切にしている人やしてもらった経験を想起し、その時に感じた心の温かさを伝え合うことで、相手を思って行動することのよさを自分との関わりで捉えられるようにする。

【学習後の児童に期待する姿】

・困っている人のために親切にしようとすることは、みんなの心を温かくするすてきなことであると気付き、身近な人に温かい心で親切にしようとする気持ちを高める。

４　本時の指導

（1）指導の構想

指導に当たっては、まず、事前に取ったアンケート「親切にしてもらったことがある」の結果を掲示する。ここでは、親切にしてもらった経験を想起することで、親切にしてもらった行動と自分の心の変化を関連させて考え、それによって、教材のきつねの心が変わる瞬間や変化に焦点を向ける導入として位置づけたい。

展開では、きつねとうさぎの行動や思いを対比的に捉える。双方が冬を前に食べ物を必要としていることを丁寧に押さえる。その上で、中心発問「うさぎにくりのみをもらったとき、どんな気持ちになって涙が出たのだろう」と問い、きつねが涙した理由を多面的に考えることを通して、相手を思って親切にすることの温かさやよさについて考える。きつねの涙には、うさぎの親切に心を動かされ、喜び・温かさ・後悔が重なっていることをみんなで考えたい。きつねの反省だけに焦点が寄りすぎると行いの善悪を確かめる思考になってしまう。親切を受け取ったときの心の温かさをさまざまな言葉で表現し、捉えられるようにしたい。

その後、「めあて」に戻り、「相手のことを思って親切にすると、どんなよさがあるだろう」と問い、親切にすることは相手だけでなく、自分や周囲の人の心も温かくすることについても考えられるようにする。終末では、親切な行為によって生まれる心の温かさを思い出し、相手、自分、周囲の人の心を温かくすることについて考えられるようにしたい。

（2）準　備　　（教師）挿絵

（3）学習過程

学習活動（時間）	予想される児童の反応			※教師の支援
1　親切にしてもらった経験について捉える。（3）	親切にしてもらったことはあるかな。その時の気持ちはどうだったかな			
	・消しゴムを貸してくれたよ。助かったよ。	・鉛筆が落ちた時に拾ってもらったよ。うれしかったよ。	・一人でいる時に遊びに入れてくれたよ。寂しかったからうれしかったよ。	※「親切にしてもらったことはあるかな」というアンケートの結果を提示することで、親切にしてもらった経験とその時の気持ちを想起できるようにする。
2　めあてを確認する。（1）	めあて　相手のことを思って親切にすると、どんなよさがあるだろう			
	・褒められる。	・喜んでくれる。	・笑顔になる。	
3　教材文を読む。（4）				※親切にしてもらった時のことを考えながら聴くように声をかける。
4　くりのみを見つけたときのきつねとうさぎの思いを考える。（10）	どんぐりを隠したきつねと、しなびたどんぐりを一つ差し出したうさぎの気持ちを考えよう			
	＜きつね＞ ・やったー！	・他の人に取られないように独り占めしよう。	・見つかったら取られちゃうから、隠しておこう。	※きつねもうさぎも冬を前に食べ物がなく困っていることを押さえる。その上で、「うさぎはなぜどんぐりをあげようと思ったの。」と問い返すことで、相手のことを考えるうさぎの親切についてより深く捉えられるようにする。
	＜うさぎ＞」 ・きつねさんにもあげよう。	・ちょっとしかないからきつねさんにあげよう。	・きつねさんも困っているよね。あげたら喜んでくれるかな。	
5　くりのみをもらった時のきつねの涙について考える。（15）	うさぎにくりのみをもらったとき、きつねはどんな気持ちになって、なみだが落ちてきたのだろう			
	・うさぎさん、ごめん。ぼくは隠しちゃった。 ・自分のことしか考えてなくて恥ずかしい。	・うさぎさん、自分もおなかがすいているのに、ぼくのことを考えてくれてありがとう。 ・うさぎさんは自分よりもぼくのことを考えていてすごいな。	・自分のことを思ってくれていてうれしい。 ・自分のことを思ってくれている人がいると心がぽかぽかする。	※児童の考えが、善悪の判断ばかりに焦点が当たらないよう、親切を受け取った時の心の動きに着目できるように問い返す。 ※児童の発言から、「自分ばかり」だったきつねと「相手のことを考えていた」うさぎを分けて板書することで、気持ちの重なりやその広がりが見えるようにする。 ※ペアで互いの考えを聴き合い、自分の考えと比べることで、自分の考えに自信をもったり、新たに考えをもてたりできるようにする。
	・うれしいんだと思う。	・自分のことを考えてくれているのが分かって涙が出たと思うよ。	・自分のことを大切に思ってくれていた気持ちに感動したよ。うさぎさんもこにこしていて、うさぎさんは自分もうれしくして、相手もうれしくしていてすごいから感動したんだと思うよ。	【キーワードとなる児童の発言】 「うれしい」 【キーワードに対する切り返しの発問】 「くりのみをもらったからうれしかったのかな。それともほかのうれしさがあったのかな。」 「おなかいっぱい食べたのにどうしてうれしかったのだろう」
6　親切にしてもらったときの心の動きについて考える。（7）	相手のことを思って親切にすると、どんなよさがあるだろう			
	・困っているのを助けてくれるとうれしい気持ちになるよ。	・相手に優しくしてもらえるとうれしくて心がすっきりするよ。	・相手が自分のことを考えてくれると心がぽかぽかするよ。自分も相手もぽかぽかだよ。	※親切にしてもらった経験とその時の心を改めて想起することで、経験と関連して考えられるようにする。 ※心の動きについて問い返し、親切について深めていく。
7　振り返り（5）	今日の授業を通して、新しく学んだことを振り返りましょう			
	・困っている人がいたら親切にしたい。	・相手のことを思って親切にしたい。	・友達が困っていたら、相手のことを親切にして心をぽかぽかにしたい。	※授業の導入を振り返り、相手を思って行う親切は、相手の心を温かくすることを確認する。

（4）評　価

・困っている人のために親切にすることは、相手だけでなく自分の心も温かくするすてきなことであることなどを考え、身近な人に温かい心で親切にしようとすることについて考えを表現しようとしているか。

（発言・ワークシート）